

KOTOBA
N O
U M I

ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No. 39 2012. 3

特集

宮城県図書館ツアー

～ようこそ宮城県図書館へ～

東日本大震災以後
落下防止テープを施した
3階閉架書庫の様子



読書は「心の栄養」

川島隆太

東日本大震災から早くも1年が経過しました。震災で犠牲になられた多くの方々のご冥福を改めてお祈りいたします。震災の爪痕で今なお苦しんでいらっしゃる全ての方々が前を向いて暮らすことができる社会を取り戻すため、皆様と一緒に、できる事から全力で取り組みたいと思っています。

発災後、沿岸部の避難所を訪問する時には、私も研究室のスタッフも、私の部屋の本棚に並んでいた子ども向けの本を携えて行くようにしていました。インターネットやスマートフォン普及により老若男女を問わず読書離れ・活字離れは深刻であるとの現状認識をしていましたが、争うように本を手にして、読みふけている子ども達を見て、活字は水や食べ物と同じくらい大切な心の栄養なんだとの思いを強くしました。

亡くなった子どもたちの為にもらっていいですかと、女性が幼児向けの本を持っていききました。天国のお子さんにお母さんの読み聞かせの声が届いていきますように。

(かわしま・りゅうた
東北大学教授)

